

# 「ささえ」

2015年7月発行 情報誌 第52号

発行NPO福祉用具ネット事務局

住所: 福岡県田川市伊田 4395 (福岡県立大学内)

TEL/FAX: 0947-42-2286

E-mail [npo-fukusiyogunet@sage.ocn.ne.jp](mailto:npo-fukusiyogunet@sage.ocn.ne.jp)

新 URL <http://npofukusiyogu.sakura.ne.jp>

情報誌「ささえ」は年4回(1月・4月・7月・10月)発行しています。

印刷 よしみ工産(株) 北九州市戸畑区天神1丁目13-5

福祉用具はあなたの自立をささえます。

あなたのささえがNPO福祉用具ネットを元気にします。

【商品名】自動排泄処理装置  
尿吸引ロボ「ヒューマニー」



夜ぐっすり眠れるから  
昼間頑張れる!



【発売元】ユニ・チャーム ヒューマンケア(株)

【商品名】床ずれ防止用ハイブリッドマットレス  
「アルファフラ ソラ」

SORA



新発売  
ハイブリッド型  
車いす用クッション

【商品名】  
アルファフラ  
ソラ クッション



【発売元】(株)タイカ



特定非営利活動法人  
NPO福祉用具ネット

「大切な芽を皆さんのやさしさに包まれながら育てていきたい・・・」

# ベッドメーカーから介護現場の皆様へ 介護ベッドまわりの事故防止のために知っておきたいこと

(株) プラッツ 取締役広報室室長 石橋弘人  
(医療介護ベッド安全普及協議会広報部会長)

## はじめに

医療介護用ベッド（以下、ベッド）は、病院や高齢者施設等で約 300 万台、在宅では 2001 年からの介護保険により現在 80-100 万台が使われ毎年 5 万台のペースで増加しています。結果、全国で約 400 万台のベッドが稼動しています。

また、ベッドからの転落事故などは全国で数万件発生し、2007 年以後重症死亡事故は約 90 件起きています。

これらに対して後述する様々な対策を行った結果、近年では重症死亡事故は年に数件と激減していますが、今後も高齢者が増加（2025 年までに 75 歳以上の高齢者は 500 万人以上増えると予測）することから、専門職はもちろん、介護をされている一般の皆さんへの更なる注意喚起が必要です。

本起草において、一人でも多くの方に関心を持っていただき是非事故予防に役立てて頂きたいと願っています。

## ●重傷死亡事故状況と対策

下の表のように日本福祉用具・生活支援用具協会（JASPA）の報告では、2007 年から本年 5 月までの重傷事故数は 103 件発生しており、その内の 71 件は手すり関連（サイドレール、ベッド用グリップのこと 以下手すり）で事故が発生しています。

また、事故原因としては、以下の通りで半数以上が取扱いに起因しています。

1. 製品に起因するものが 16 件
2. 取扱いのミスによるものが 53 件
3. 特定できないものが 28 件

消安法重大製品事故集計表（2007年5月14日～2015年5月15日） JASPA作成

品目	製品起因	死亡	重傷	軽傷	火災	計
介護ベッド	製品起因		4			4
	起因未特定	4	6		1	11
	起因不明		1	1	1	3
	非製品起因	7	5		1	13
	非重大			1		1
計		11	16	2	3	32
介護ベッド用手すり	製品起因		6	6		12
	起因未特定		9	8		17
	起因不明		1	1		2
	非製品起因		22	18		40
	非重大					0
計		38	33	0	0	71

このような背景もあり、国内主要ベッドメーカーで構成される医療・介護ベッド安全普及協議会（以下、ベッド協議会）においても、事故予防のため、パンフレットの配布やホームページでの動画配信、主要展示会での安全普及講演会などを実施しています。

※1

また、経済産業省、厚生労働省の協力も得ながら異例のスピードで 2009 年に在宅介護用ベッド、病院用ベッドの日本工業規格（JIS 規格）の改定を行いました。

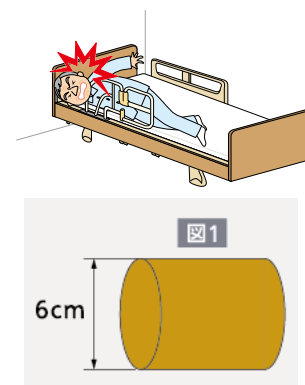
JIS 規格とは、メーカーが製品開発をする際の最低限のルールを定めたもので、ベッドの隙間の寸法や強度など 100 項目以上の様々な規定があります。結果、2009 年以後、国内主メーカーはこの JIS 規格に則った製品を年間約 30 万台販売することになり約 200 万台が JIS 対応品となりました。

このような対策を行った結果、重症死亡時は年数件と大きく減少しましたが、2009 年以前のベッドがまだまだ 2 百万台は稼動していますので、今回は、特に事故が多い手すり周りの代表的な事故とその対策について解説します。

### ① 事故例：手すり廻りの首はさみ事故と対策

2009 年の JIS 規格では、下図のように「即死につながる首の挟まり事故」を無くすため「手すり廻りの隙間」に関して特に重点的に検証し、改定を行いました。

具体的には、首を想定した下図 1 の直径 6cm の物を図 2 の様に手すり周りの隙間に 50N（約 5kg）で押しても入り込まないことを条件としています。



現在、これを満たすベッドでは隙間を約 4cm 以下としています。

また、2009 年以前は、手すりの装着方法に互換性があるため、ベッドと手すりが異なるメーカーの物でも使用することができました。しかし、これでは手すりとの間の隙間を管理することができないので 2009 年 JIS 規格では手すりの互換性を認めません。

この結果、2009 年以後に JIS 認証を得たベッドにおいては首が挟まる死亡事故は起きていません。

### 一簡単な隙間危険度の判定方法一

身近なもので 6cm や 4cm の物（例 6cm : ペットボトルの直径/指 3 本、4cm : 2 本など）を探しておきましょう。指 2 本程度の隙間であればまずは安心ですが、3 本では危険です。

### 一簡単な対応方法一

#### 1. 緊急対応

図のよう隙間にクッションなどを入れたり、手すりにタオルを巻いたりして隙間を 4cm 以下になる様にして下さい。



クッションなど

#### 2. スペースの利用

右図のように手すりと手すりの隙間を埋める樹脂製のスペーサーを提供しているメーカーもあります。



スペーサー

### 一恒久対策一

#### 手すりの交換

ベッドと手すりのメーカーが異なる場合は、ベッドメーカーに連絡し対応する手すりに交換して下さい。

### <なぜ挟まったのか？対策は？>

#### 1. ベッドから落ちたりモコンやメガネ、ティッシュなどを取ろうとして挟まったケース。

ベッド廻りに柵やテーブルを用意し、薬やメガネなど普段使用する物を置けるように考慮して下さい。



ただし、図のようにベッドから遠い位置にならないようにして下さい。隙間にはまり込む事故や転落事故の原因になります。

#### 2. 横倒れして挟まったケース

介護度が高く姿勢保持ができない人などを、背角度 45 度以上で放置すると横倒れを起こし、隙間に首や体の一部が挟まったり、写真のように首が手すりに乗り窒息する場合があります。また、ベッドからの転落事故の原因にもなります。



対策としては、目を離す場合は背角度を 10° 以下など横倒れしない角度にしておきましょう。

#### 3. ベッドから降りようとして挟まった。

認知症などで転落の頻度が高い方はベッドの必要性を再度判断し、場合により布団への移行も考慮しましょう。

#### 4. 端座位時に後方へ倒れて挟まった。

背中側に布団やクッションを置き、後方へ倒れにくいようにして下さい。

### ② 事故例：手すり廻りの腕や足の骨折事故と対策

多くは図のように操作する人が、患者の腕や足の位置を確認せずに背上げや足上げを行った結果起きています。脳梗塞などで麻痺している腕や足では本人も気づかない場合もあるようです。



### 一対応方法一

背上げや足上げを行う場合には、特に反対側の手足の位置を確認し、かつ、途中で止めて再確認をしましょう。

### 一恒久対策一

恒久対策としては、図のように手すりにカバーを装着することで腕や足が入らない状態にして下さい。特に麻痺している側、あるいは操作者とは反対側のレール類だけでもカバーをすることで予防効果は大きく上がります。



サイドレールカバー

以上、今回は手すり廻りの代表的な事故と対策を紹介しましたが、これ以外にもベッドの低床化により手すりを跨いで乗り降りしての転倒事故など手すり関連の事故は実に多くあります。

次回は、手すり以外の事故例と対策について解説します。

※1 医療介護ベッド安全普及協議会は、ベッド関連の事故を予防するため平成 14 年に設立された。「ベッド 安全」で検索！

8 月 8 日（土）にプラッツさんを訪問させていただきます。NPO の会員様でご希望の方は事務局までお問い合わせください。

## 介護美容の大切さ

NPO福祉用具ネット理事 吉村恭幸（脳神経外科医師）  
（一般財団法人福岡県社会保険医療協会会長）

人は誰でも美しくありたい、格好良く見られて人と話をしたい等と思っている。どんなに高齢となってもその人が願う生き方、快適な生活をしたい。

特に女性は、素顔でいるよりも日頃から化粧をして人の前に出たいとの願望が強いと思う。

その願いを少しでも叶えると生きがいを感じ、元気になる。行動が変化し、楽しみが増える、お洒落をしたくなり、洋服が変わる。従って身だしなみに気を付けるようになる。そうすると人と会って、話が出来ると、笑顔も出るようになって考えられる。

これらはそれぞれの脳の活動を活性化し、動作をすることは四肢とその筋肉を鍛えることになって、その人の生活力が拡大する。

女性が鏡の前で自分の顔を見る時、鏡で見ようとして、手足を動かして行動することは脳の活性化になる。

高齢者や要介護者が御自身の健康寿命を更に延ばそうとする時に必要なことは美容に時間を費やすことである。

特に美容は女性のものと考えられているが、女性が楽しく生きるためには男性の存在が必要である。男性も48%は美容に関心を持っているし、男性の肌は汗腺や皮脂腺が女性の約2倍多いので、男性にも美容は必要なことである。男性と女性の良い人間関係がお互いに刺激となり、やる気を起こして活性化につながる。

美容が人の生き方の活性化に繋げることの道すじの一部を記述する。

女性が化粧をして、美しくなった、良かったと幸せな気分を感じている時、脳の中では快感中枢（神経系）から快感ホルモンの「ドーパミン」が分泌される。中でも快感中枢にある「A10神経」はドーパミンを分泌するA8～A16神経系のうち最大である。A10神経は脳幹の上部にある中脳に端を発し、脳の中心部の視床下部の下側を通り前方の前頭の方へ向う。そして一方は側坐核へ伸び、もう一方は前頭連合野へつながり、ほかの脳との接点となって前頭連合野の働きをコントロールしている。

ここに快感ホルモンが分泌されるので、脳の意識的な部分に大きな幸福感をもたらす。

慶応義塾大学文学部准教授で、認知心理学を研究している川畑英明氏と、ロンドン大学教授ゼキ氏のグループが「美しい」と感じた時の脳の活動をファンクショナルMRIで調べたところ、目の後方に位

置する前頭葉の部分が活動すると報告されている。女性の場合は毎日の化粧がそのまま前頭葉を鍛えることになる。

前頭連合野はA10神経の終着点で、ドーパミンが他の部位の2倍分泌され、やる気や知的快楽を生み出す。

人の心の動きや行動の動機づけとなる快不快の感情が生み出され、人の行動の積極性が決まってくる。

化粧により白やピンクの色彩や香りが人の心の状態を変え、快適な感じになる。鏡に映った色や形の情報は目から入って、視床を通り大脳の視覚野で認識される。

香りの分子は鼻腔の嗅細胞で感知され、その情報は嗅球から大脳の嗅覚中枢へ送られて匂いが認識される。

また視覚と嗅覚情報は、海馬、扁桃核、視床下部などの大脳辺縁系に深く関与している。大脳辺縁系は情動脳ともいわれ、人の気分や感情に深い関係があるので、鏡に映った自分の顔の色や香りはその人の気持ちを大きく左右することになり、その人の活性化に繋がる。

女性が化粧を自分でしようとする時、総司令官である高位脳は大脳皮質の連合野である。ここで行われるのは行動の企画・立案である。「まず顔を洗おう」「前髪は少し額の方へやろう」「眉毛は少しこゆめにしよう」等と動作の目標が定められる。これらは大脳皮質の高次連動野より運動指令基地である一次連動野に送られ脊髄から末梢器官の手、足へと指令系統が繋がる。

さらに小脳などの器官が補完的に関わることで、複雑精緻な運動が可能になる。大脳皮質から全身運動へつながる。小さい手足の運動から、屋外でのハードな運動へ、知的活動の復活まで作用することになる。

介護美容によって、高齢者の笑顔と元気が出て健康寿命が延びることを願うものである。

女性の場合の化粧をした時の変化についての報告がある。

1993年7月より11月にかけて、徳島県の鳴門山上病院で、66歳より93歳までの女性の老人性認知症患者40名を対象に行われた化粧効果の調査がある。

その調査によると90%の人が表情が豊かになり、35%の人が身だしなみに気を使うようになった。ま

た28%の人がリハビリや洗顔・トイレを自分で行うようになるようになり、同じく28%の人がおむつが取れ、25%の人の精神状態が安定してきたという。

介護美容が認知症の予防や、老いてもその人らしく生き、健康寿命を延ばす働きがあることが理解できた。

人が病気になった時は、重症であれば化粧を落として入院するとか、慢性期の病気の時やデイサービスの時等入浴との関係で化粧することをしない。いつどんなタイミングでスキンケアやメイキャップ等を行うかが問題となる。人の生活の中のタイミングと誰が化粧をするのか、化粧をする習慣を身に付けさせることが大切である。

そのためには高齢者や要介護者の肌に負担をかけないケア、高齢者に心の癒しができるメイキャップ術が必要であり、介護、看護者の中にその技術を持った人が育っていく必要があると痛感する。

日本介護美容セラピスト協会が育成されている、ビューティタッチセラピストが増加していくことも大切なことです。介護美容が一人でも多くの人に行われることを切に望むものである。

#### 参考文献

脳は死ぬまで進化する 田澤俊明 主婦の友社 (2015. 2)

脳の事典 成美堂出版 (2011. 12)

### 自分を知ることのできた楽しい時間

NPO福祉用具ネット理事 海尾美年子  
(アップルハート飯塚訪問看護ステーション)

5月9日、参加の23名は4つのテーブルに自由に座り、眼鏡をかけたペイマックスのような佐々木先生のリードで研修会は始まりました。私はドキドキとワクワク感で一杯でした。最初に与えられたテーマは自分の困った(心にひっかかっている)経験をお互いに出し合うことでした。最初の緊張した雰囲気も、お話を伺っているうちに、いつのまにか井戸端会議のようなノリになっていました。みんなの話が盛り上がり、先生はストップをかけるのに苦労されているようでした。この時間は、皆いろんなことを背負っているのだと感じ、悩んでいるのは自分だけじゃないのだということがわかりました。何だかホッとした気分になりました。

次に、“良いとこ探しゲーム”をしました。自分を除いた他のメンバーからインタビューをしてもらい、それぞれが感じたいいところを言うというゲームです。自分が思ってもみなかったことを聞くことができました。最初は恥ずかしかったので

すが、イメージしている自分とは違った自分を知ることができ、嬉しく幸せな気分になりました。先生が言われるには、人の悪いところは本能で見つけられるそうです。それがその後の行動に反映していくと考えると暗い気持ちになってしまいます。しかし意識的に、良いところを探すように心がけると、それは磨かれていくそうです。ということは、常日頃、人のいいところを見るように習慣づけることでその後の行動が変えられるということでもあるのです。これはこれからの人生に大きな影響を与えそうだと思います。



楽しい語らいの時間でしたが、知っているとお得なコミュニケーションの知識がありました。それは、コミュニケーション手段により情報量の違いがあることです。言語的な表現が一番効果ありと思いましたが、表情、態度、雰囲気の非言語的な表現の方が効果はあるそうです。また、相手への意思伝達は、言語表現で60~80%で、理解を得るのは必死で聞いてもらって30~40%だそうです。これを理解していると、自分の思いが伝わらないことへのストレスが軽減できそうです。あつという間の自分を客観的にみることでできた楽しい時間でした。2回目の研修会が楽しみです。

### 「大分ロボケアセンター」見学

NPO福祉用具ネット理事 井内陽三  
(あおぞらの里行橋訪問看護ステーション)

先日の4月25日に大分県別府市にある、「大分ロボケアセンター」へ見学に出かけました。参加者は十数人で、将来的に増加していくであろう、ロボットを活用したリハビリテーションへの関心の高さが窺えました。

現地に到着し、初めに興味をひかれたのが同施設のある周囲の環境でした。障がい者就労・生活支援の施設などが複数ある「太陽の家」の一角にあるので当然なのですが、車いす使用の方が、とても多く

行き来していた事です。車いすユーザーの方が使用しやすい横断歩道の設置や、公衆電話ボックス。近隣には車いすで利用しやすいスーパーもあるとのことで、同行した NPO の会員の方たちと見学に行くことができました。

さて、本題の「ロボケアセンター」の見学。初めにプロモーターの方から施設概要と、一番の特徴であるロボットスーツ「HAL」(下肢タイプ)と、その利用プログラムについての説明を受けました。



「HAL」(下肢タイプ)は、下肢に障害がある方や脚力低下の方を対象に開発されたロボット治療機器です。実際に装着し、立位、歩行の動作が可能であることが体験できました。装着感としては、想像より圧迫は少なく、動きの妨げも少ないことを体験しました。さらに、サイズ展開も S・M・L の 3 種類あり、体格に合わせ使用できるとのこと。「HAL」の事は少し前から見聞きすることがありましたが、実際にはすでに国内で 400 台程度の稼働中とのこと。今後日本で普及していくのかと思ったら、すでにドイツでは労災保険適用で利用されているとのことと驚きました。日本国内での医療機関での使用も広まっているようで、近い将来、入院時のリハビリを行う上での選択肢になるのかもしれないと思われました。

他には、作業時の腰部負担を軽減するための腰部から大腿部のみに着用するタイプの試着も行えました。介護や荷物作業などの用途により、設定を変えることができるなどの特徴的な物でした。身体負担を減らす環境整備を行っても、なお腰部負担がかかることが多い介護現場には、これから必須な物になってくるのではと思われました。

また、運用面のお話も伺えました。「HAL」を利用したトレーニングは、一般的なトレーニングと同じで、アップ・トレーニング・クールダウンのメニューで、1 回 90 分のプログラム。回数券の設定などあり、利用回数設定は個人に合わせられるとの事。

しかし、一番興味をひかれたのは、大分県＝おんせん県とのキャッチコピーがあるように、温泉付きのリハビリ旅行を組んでもらえるとの案内でした。バ

リアフリーの宿の案内、福祉車両の手配など、実際に身体に障がいがある方にとっては、最大のバリアになる事が解消され、同行のご家族などと旅行も楽しめるといことが、とても良いなと思いました。

説明の後、トレーニングルームの見学に行きましたが、見学時には利用者の方がトレーニング中とのことで、残念ながらガラス張りになっている外からの見学となりました。しかし、利用者の方が、真剣にトレーニングに取り組んでおられる姿を見て、外までその熱気が伝わってくるようでした。

今回見学させていただいた「ロボケアセンター」は、まだ全国的にもわずかとのこと、利用するにも制約が大きいと思われます。今後、施設数が増え、利用しやすくなれば良いなと思います。

現在、国の方策でも、医療・介護分野でのロボット活用が進められていると聞きます。今後、「HAL」のように、多くの方の思いにこたえる、様々な機器が、開発・普及し、何かしらの障がいがあっても、一般的なフィットネスルームのように、気軽に利用できる施設が増えると良いなと思いました。

#### 「福岡県立大学福祉用具研究会の報告」

NPO福祉用具ネット理事 中藤広美  
(福岡県立大学人間社会学部)

平成 27 年度の福岡県立大学福祉用具研究会は、これまでとは趣が大きく変わりました。

これまでの知識を『モノづくりの支援』に貢献したいと考え、研究会を開催しています。言うまでもなく、『ものづくり支援』を求めている企業様からは喜びの声が寄せられております。一方、私たち研究会の会員としてどのようなメリットがあるのかを考えてみました。

①開発品への意見や感想を考えたり述べてたりすることは、福祉用具を選定する際の基準作りのトレーニングになりそうだと思います。②利用者様への支援の在り方を探るスキルが磨かれそうな気がします。③目的や目標、ねらいを具体化しその実現に少しでも近づけるように、できるだけ多角度から検討をすすめる力がつくでしょう。④他業種と連携して自分にはない視点に気づき、それらも参考にしながらサービス提供に生かせるでしょう。

今年度の福祉用具研究会は、そのようなトレーニングの場になりそうな予感がしています。



福祉用具研究会に相談したい企業の方は、NPO福祉用具ネット事務局までお問い合わせください。

# 2015年も盛りだくさん！！ 下半期 研修会・交流会・学習会

今年もNPO福祉用具ネットは、様々な視点から研修会・交流会・学習会を開催します。今回はその中から下半期の研修会のご案内をさせていただきます。

## 1. 研修会

### 姿勢が変われば暮らしが変わる！！

\*10月31日 西日本国際福祉機器展 会場内セミナーブース (福祉住環境コーディネーター協会との共催)

テーマ パート1「座位と食事姿勢」  
パート2「ギャッチアップとエアマット上姿勢」

「目からうろこ」の研修間違いなし。崩れた座位姿勢でお食事をさせていませんか？ベッド上での姿勢、本当に良いですか？シーティングやポジショニングの技術を学ぶことで、たくさんの新しい気づきが発見できる研修会です。

## 2. 学習会

**介護技術は、介護する方が安全に且つ負担がないようにしないと、利用者の方にも安全に負担がないようににはできません。**

**セラピストでNPOの理事が、今まで行ったNPO研修会の技術と、自分自身で研鑽した技術を皆様に伝えていく学習会です。**

日時9月26日

テーマ「動作介助とポジショニング技術学習会 2回目 学んだ技術活用できていますか？」

これまで4回開催した、下元佳子先生(うえるば高知)から教わった動作介助とポジショニング技術を、もっと現場で使えるようにNPOの理事であるリハ職が総力をあげて支援する学習会です。第1回を開催し、参加者はあらためて技術や理論の再確認ができました。今回は、2回目を開催します。これまで受講された方、是非ご参加ください。

\*2回目は9月26日の予定です。

## 3. 交流会

**皆さんと相互通信型の意見交換の場として、昨年度より交流会を開催しています。**

研修や学習会と違い、テーマに対してそれぞれの立場でざっくばらんに意見を出し合うアットホームな企画です。いろんな職種の方が参加されることで、あらたな視点や気づきを得ることができますよ。

交流会④9月12日

テーマ「現場で困っている動作介助～キネスティ

クス®の概念で考える介助法」

キネスティクス®ってどんな技術？介護する人もされる人も双方に優しい介護技術です。ちょっとしたコツを知っている介護と知らない介護とではどのように異なるのでしょうか？実体験をすればその違いがわかります。まずは基礎を学びましょう。

交流会⑤11月14日

テーマ「福祉用具最新情報と現場に求められる福祉用具について語ろう！！」

国際福祉機器展や西日本福祉機器展で見た最前線の福祉用具情報を技術者の視点から紹介します。技術者からの視点で語る研修会はあまりありません。この機会にいろんな専門職の方に参加していただき、これから、現場で求められる福祉用具のニーズや課題について意見交換をしましょう。

交流会⑥12月5日

テーマ「地域包括ケアシステムを見据えて、在宅高齢者を支える課題と工夫について考えよう」

地域包括ケアが進められていますが、実際に現場が抱えている課題は何でしょうか？今回は在宅ケアに焦点を絞って、連携のあり方、サービスの限界、在宅高齢者の実態について様々な職種の皆様と意見交換をしたいと思います。

本NPO理事でもある吉村医師にコーディネーターを務めていただき、様々な専門職の現場の第一線で働く方に多く参加していただき、意見交換をしていきましょう。

12月12・13日に開催予定のおむつフitter3級講座については、すでに5月で受講定員数に申込が達しました。

NPOではいろんな研修を開催するにあたり、確定した時点ですぐにホームページで案内しますので、皆様、定期的にホームページを覗いてください。また、「事務局長のブログ」でも、随時情報を案内していますし、裏話も掲載されておりますので、是非覗いて、コメントしてください。

多くの皆さんの参加をお待ちしています。

・・・理事一同・・・

## 事務局だより

### 〈27年4月から6月までの事務局のうごき〉

#### 3月 前号のつづき

- 3月9日 事業化支援会議（事務局）
- 3月13日 事例相談
- 3月17日 開発相談（長崎）
- 3月20日 事例相談
- 3月21日 事例相談 事業化支援会議（事務局）
- 3月23日 事例相談 事業化支援会議（事務局）
- 3月24日 事例相談
- 3月26日・27日 企業相談 筑豊地域
- 3月30日 事例相談
- 3月31日 事業化支援会議（事務局）

#### 4月

- 4月4日 理事会
- 4月6日 事例相談
- 4月8日 事業化支援会議（事務局）
- 4月9日・10日 開発相談（東京）
- 4月13日 開発相談（事務局）
- 4月14日 監査・開発相談（事務局）
- 4月16日～18日 大阪バリアフリー展  
企業相談3件
- 4月20日 福祉用具研究会
- 4月24日 開発相談（事務局）
- 4月25日 FJC協会見学会  
大分ロボケアセンター見学

#### 5月

- 5月9日 通常総会 事例相談  
研修会 コミュニケーションと心のケア【パート1】
- 5月11日 開発相談（事務局）  
事務局関連諸手続き
- 5月12日 開発相談2件
- 5月13日 開発相談（福岡）
- 5月15日 開発相談（事務局）
- 5月18日 福祉用具研究会
- 5月19日・20日 開発相談（東京）
- 5月26日 開発相談（事務局）
- 5月30日 研修会  
動作介助とポジショニング技術学習会

#### 6月

##### 情報誌ささえ52号発行準備

- 6月2日 開発相談 北九州市
- 6月4日 開発相談事前打ち合わせ 福岡
- 6月11日・12日 開発相談（東京）
- 6月15日 福祉用具研究会
- 6月20日 交流会①  
高齢者の口腔ケアについて語ろう！  
ドライマウスへの対応と実演（康和会と共催事業）
- 6月27日  
コミュニケーションと心のケア【パート2】

## ご報告

### 【平成27年度通常総会を開催しました。】

平成27年5月9日土曜日に、本NPOの通常総会を開催し、すべての議案について審議され、全会一致で原案通りに承認されましたことをご報告いたします。

### 【新理事のご紹介】

7月1日から新しい2名の理事が選任されました。

#### ◆是松さくゑ理事

(株)四葉ケアサービス代表取締役  
元、アップルハート飯塚訪問看護ステーション管理者  
(看護師・ケアマネ)

#### ◆西村静子理事

医療法人康和会りんごケアプランセンター管理者  
(主任ケアマネ・歯科衛生士)

### 〈7月から10月までの確定している行事〉

#### 7月4日(土)13時から17時 交流会②

抱え上げない介護技術を習得しよう 体験学習会

#### 7月25日(土)13時30分から16時30分交流会③

現状の排泄ケアの課題について一緒に考えましょう！

7月29日(水) 福祉用具体験講習2015（福岡県立大学内）

#### 8月8日(土)13時30分から15時30分

##### FJC協会見学会

介護ベッドメーカー(株)プラッツ展示場見学とセミナー（福岡県大野城市）

#### 8月29日(土)14時から17時 研修会③

コミュニケーションと心のケア【パート③】

～癒しとは何かを考える3時間～

#### 9月12日(土)13時から17時 交流会④

現場で困っている動作介助

～キネステティクス®の概念で考える介助法～

#### 10月31日(土) 西日本国際福祉機器展セミナー

〈FJC協会との共催事業〉 講師 大淵哲也先生

##### 〈姿勢が変われば暮らしが変わる〉

午前の部 10時30分から2時間 座位と食事姿勢

午後の部 13時30分から2時間 ギャッチアップと

エアマット上姿勢

受講料は無料ですが事前申し込みが必ず必要です。

(NPO福祉用具ネットの会員さんはNPO福祉用具ネット事務局でも申込みを受付けます。)

西日本国際福祉機器展は10月29日から31日まで3日間開催されます。各種セミナーも開催。セミナー詳細は10月のささえ53号とともにご案内予定

#### 12月12日・13日 オムツフィッター3級の研修会

定員になりましたので申込受付を終了しました。

今後は、キャンセル待ちの受付をします。

#### 12月12日九州で初めて開催する〈おむつ検定〉受付中。

受検の申込み用紙はNPO福祉用具ネットのホームページに掲載しています。